



AYABUSA 大解剖 2

2014年

展示期間：12月3日（水）～1月4日（日）

はやぶさの後継機、「はやぶさ2」がいよいよ宇宙へと飛び立ちます。小惑星探査の技術を実証した、はやぶさが遭遇したトラブルをふまえ、数々の改良が施されています。例えば、相次ぐ故障に悩まされたリアクションホイールは4個に増強され、機器のバックアップが図られました。

また、新しいミッションも加えられています。インパクターを用いて人工的なクレーターを作りだし、太陽風や放射線といった、宇宙の風化作用を受けていない、小惑星の内部物質を露わにするのです。

はやぶさ2の活躍により、太陽系の起源や生命の故郷について、新しい視座がもたらされることでしょう。私たちの命が誕生するまでの長い糸をたどる、壮大な冒険が今始まろうとしています。

今回の寄贈品コーナーでは、はやぶさ2の搭載機器やサイエンスについて、模型や身近なセンサーを使って、わかりやすくお伝えします。